

シジュウカラに限らず、ほととんどの鳥類は、母親と父親が協力して子育てをします。特に雛が大きくなるにつれ、親鳥と同じぐらいの量を食べるようになるので、親鳥は餌運び入れと糞の運び出しに大忙しになります。

過去の営巣の観察では、父親は巣箱口まで餌を運んで来て、あとは母親に任せるケースもありました。しかし、今年の営巣では、父親が特に熱心で、巣箱の中にまで餌を運び込み、糞の運び出しまでせっせとしています。

7月に入って餌の幼虫やバッタ類が豊富になったこともあり、雛たちは驚異的な速さで成長しています。巣立ちは7月19日前後を予想していたのですが、もっと早くなりそうです。しかし、まだヘビの被害の心配があるので、夜間（19時20分～翌朝4時20分）は、遠隔操作で巣箱口を閉鎖しています。

（2023年7月上旬／北軽井沢の巣箱）

